

学校教育目標

自ら学び考え  
主体的に行動する  
心豊かな生徒

目指す生徒像

胸をはり  
瞳輝く東中生

# 学校だより 瞳輝く

第1号 令和3年4月8日 川越市立東中学校長 福田和子

## 「教育が一人前の社会人をつくる」家庭や地域の願いに応える 「守・破・離」の東中三カ年教育

### ＊ ＊ 令和3年度のスタート 入学式式辞より一部抜粋 ＊ ＊

一一五名の新生生の皆さん入学おめでとうございます。皆さんはただ今から川越市立東中学校の生徒となりました。ようこそ東中学校へ。上級生も、私たち教職員も全員が皆さんを心から歓迎します。そして、東中学校での三年間をよりよい中学校生活にしていくことを願っています。

これから新生生の皆さんに、二つのことを話します。

一つ目は、学校教育目標「自ら学び考え 主体的に行動する 心豊かな生徒」についてです。本校の生徒には、「胸を張り 瞳輝く東中生」として「思いやりのある生徒」「自ら学ぶ生徒」「心身を鍛える生徒」となるよう三年間の中学校生活を送ってほしいと考えています。変化の激しい時代を生きる皆さんにとって「自分のことだけでなく相手のことも認め、思いやりを持つこと」「自ら学ぶことで確かな学力を身に付け」「心身を鍛え、やり通す意志や体力を身に付ける」ことは、とても重要な要素です。そして、それを「やり続けること」や「やり遂げること」は、容易ではありませんが、大人になるまでに身に付けるべきこととして重要なことととらえる必要があります。

中学校時代は、子どもから大人に成長するための大切な学びの時期、人との関わり方を学ぶ時期です。中学校の生活の中で多くの仲間と関わり、活動していく中で身に付けることは、とても重要でその後の人生に大きく関わってきます。「わくわくすること」や「ときどきすること」がたくさんあるでしょう。また、悩み事が増えてどうしてよいかわからないことがあったり、戸惑うことがあったりと今までの自分と違う部分もでてきます。そのようなときに東中学校の先生方は力になってくれます。周囲の友達も協力してくれるはずですよ。

二つ目の話は、社会に出るために必要なことを身に付ける東中学校の「守・破・離」の三年間についてです。

一年生は、「守：守る」基礎固めの一年間として東中学校の校風、伝統を学び、基礎基本を身に付け、受け継いでいく段階としています。

二年生は、「破：破る」自主自律、新しい考えや工夫を加え、発展させる段階です。

三年生は、「離：離れる」集大成の最高学年として自分の次のステップへとつなげていく段階です。義務教育を修了し、自己実現につなげていきます。

今日から新生生の皆さんも東中の一員となります。皆さんには頼りになる先輩がいます。色々な場面でよい手本とし、具体的な目標としてください。先生方も応援します。

また、法律改正により、成人年齢が18歳となりました。そのときは、あっという間にやってきました。成人となるまでの間に社会の中で生きるためのノウハウを身に付けることはどうしても必要なことです。子どものよりよい成長には、親の愛情としつけが必要です。この三年間、お子様のことを正しく知り、お子様とともに親として成長していくことも多くなります。また、子どもの言動から、成長を実感することも戸惑いを感じることもあるでしょう。今まで以上にお子様を温かく見守っていただきますようお願いいたします。

一人一人の中学校生活が「瞳輝く東中生」として伸びやかに、心豊かになることを心から祈念し、式辞といたします。

#### 学校だより「瞳ひとみ輝かがやく」について

本校の目指す生徒像「胸をはり 瞳輝く東中生」の一節から中学校生活三年間での学ぶ多くのことを自分から学ぼう、自分から行動しようとして志高く取り組む生徒をイメージしています。

「瞳ひとみ輝かがやく」が「学校・家庭・地域」の協力体制をより確固なものにすることを願っています。